

2025年5月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ リ ム ス
代 表 者 名 代表取締役社長 田 中 政 臣
(コード番号: 3150 東証プライム)
問い合わせ先 財務企画部長 阿 部 嘉 雄
T E L 03-5769-3500

系統用蓄電池事業への参入のお知らせ

当社は、系統用蓄電池事業へ参入するため、デジタルグリッド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：豊田 祐介、東証グロース市場）と系統用蓄電池の運用に関する契約、株式会社サンヴィレッジ（本社：栃木県足利市、代表取締役：三村 挑嗣）と系統用蓄電池設置工事請負契約を締結しましたので、お知らせいたします。

記

1. 系統用蓄電池事業への参入目的

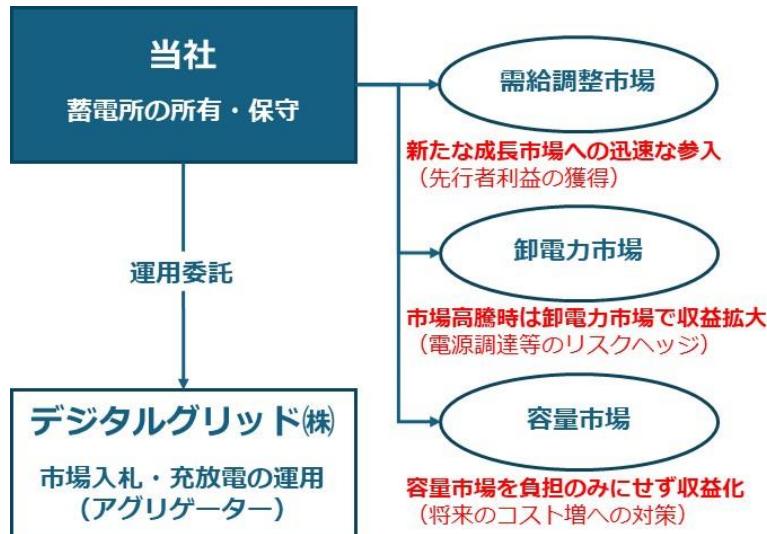
当社グループは、事業用太陽光発電システム等の販売と電力小売を主軸に事業を拡大してまいりましたが、新たな事業展開として、自己資金による設備投資により系統用蓄電池事業に参入し、新たな収益源を創出することで企業価値を向上することを目指してまいります。

今般2箇所の蓄電所での運営を開始する予定ですが、今後も引き続き蓄電所の建設を検討し、事業の拡大を図る方針です。

2. 系統用蓄電池事業の概要

太陽光発電などの再生可能エネルギーは、天候や時間帯による発電量の変動が大きく、電力供給の安定化が課題となっています。系統用蓄電池は、大型蓄電池を電力系統に接続し、電力の余剰時には充電を行い不足時には放電を行うことで機動的に電力の供給力を調整することが可能であり、電力需給の安定化や再生可能エネルギーの普及に貢献することで今後の拡大が見込まれる成長市場です。

ビジネスモデルとしては、電力の安定供給や周波数調整のサービスを提供する「需給調整市場」、電力売買の場において安価な時間帯に電力を調達し需要が高い時間帯に販売することで収益を得る「卸電力市場」、将来の電力供給力を提供する「容量市場」の各市場において、より高い収益を得られる市場にて取引を行います。



小売電気事業との親和性が高い事業であり、短期的には需給調整市場を中心に早期投資回収を図り、中長期的には電源調達等のリスクヘッジとしてのシナジー効果が期待できます。

3. 工事請負契約を締結した系統用蓄電所の概要

三重県伊賀市と愛知県豊橋市にて蓄電所を設置いたします。

伊賀蓄電所

蓄電所の容量	2 MW / 8 MWh (高圧)
設置場所	三重県伊賀市 (中部電力管内)
蓄電池システム	HUAWEI 製 LUNA2000-2.0MWH コンテナ型蓄電池×4台
アグリゲーター	デジタルグリッド株式会社
運転開始	2025年12月予定

豊橋蓄電所

蓄電所の容量	2 MW / 8 MWh (高圧)
設置場所	愛知県豊橋市 (中部電力管内)
蓄電池システム	HUAWEI 製 LUNA2000-2.0MWH コンテナ型蓄電池×4台
アグリゲーター	デジタルグリッド株式会社
運転開始	2026年1月予定

4. 業績への影響

本件の当期業績に与える影響につきましては本日公表の2026年3月期業績予想に反映しています。運転開始後3～5ヶ月は試運転となるため2026年3月期の業績における影響は軽微です。2027年3月期以降は需給調整市場への参入により利益貢献が見込まれます。

完成イメージ図



以上